

議会報告会の質疑応答の概要

【参加者】下水道事業について伺いたい。市からの繰入金や排水の負担割合、下水道の延命事業で予算はパンクしないのかなど色々質問したいが、まとめると水害に対してどのように改善しているのか。

【委員】平成28年度の業務実績については、排水区域面積が2,220haとなっており、前年度に比べ2ha増加している。これは、全体計画面積3,124haの71.1%に当たる。処理区域内人口は231,034人で、市内人口241,718人の95.6%になっている。年間処理水量29,181,293 m<sup>3</sup>は、前年度に比べ3,369,039 m<sup>3</sup> (13.1%)増加している。これを1日当たりになると、平均処理水量79,949 m<sup>3</sup>は、前年度に比べ9,424 m<sup>3</sup> (13.4%)増加となっている。また、下水道使用料の対象となる年間有収水量は23,084,164 m<sup>3</sup>で、前年度に比べ59,147 m<sup>3</sup> (0.3%)増加している。

【委員】建設改良工事では、雨水分、汚水分を合わせて1,542.7mの新たな管が布設され、下水管布設延長は、499 kmになっている。また、下水道管渠については、汚水量計測に必要な流量計などの設備点検のほか、約11.9 kmに及ぶ管渠内破損状況等をテレビカメラで調査し対応するなどの維持管理が行われている。

【委員】溢水対策については、134号線のところに巨大な貯留管を作るなど、貯留する施設も作っているのので、昭和に比べれば改善されている。浜竹や萩園雨水幹線に関しても、浜竹は終了し、萩園も計画的に行っている。

【参加者】一般会計の歳出が増えている。3年間で1000億円を超えている。市民としては財政が健全に運営されているか不安である。どうして第4次実施計画を承認したのか。

【委員】おっしゃる通りで、その原因として箱モノが続いているということも決算の中に出ている。決算からは少し外れるが、代表質疑の中でも、作ったものに対して一歩立ち止まる、または、ドラスティックな計画の変更などについても議員から出している。各事業の中にはその影響で中断、廃止しているものもある。例えば中核市については平成30年までにやるという明言もなくなっている。各議員も感じていることであり、要所で質問しチェックしている。

【参加者】原因を追究してもらいたい。計画と実際の差が何であるかを追求してほしい。一番多い福祉はやむをえないが、総合計画の段階で人口形成は推測できたはずである。かなり大きいのが人件費。平成25年から平成28年の3年間で224人増えている。人件費、物件費などを調べて原因を追究してほしい。

【委員】第4次実施計画はこれからで、今査定をしている真っ最中である。最たるものは扶助費である。実施計画については、ドラスティックな見直しをしてほしいと議会

でも要求している。まだ正式な報告は受けていない。

【参加者】市債の残高が約 700 億円ある。市債の返還についても議会としてやってほしい。

【委員】意見として承る。

【参加者】病院の決算について、約 1 億円の横領があったのに承認したのか。

【委員】平成 28 年度の決算は、3 月 31 日に出納閉鎖していて、2 か月以内に決算書を出さなければならない。しかし、今回の横領は平成 29 年度に発覚しているので、その部分は平成 29 年度の決算の中に入る。また、平成 28 年度病院事業会計決算に関しては、議会としてまだ承認していない。

【参加者】高齢者が小さな単位で集まれるようなコミュニティを空き家などを利用してできないか。高齢者の外出提供について決算では質疑はなかったのか。

【委員】現在、グループホーム等で行っている。そのような計画があり、一緒に共生して地元で生きていくという事業は続けている。